

Netflixの誤算

Netflixの加入者数は急成長し、2011年第2四半期の加入者数は2,460万人に達した。そのNetflixが料金体系を大きく変え、実質60%もの値上げをしたことで、加入者から大きな反感を買っている。

月額\$9.99から\$15.98に値上げ

Netflixのこれまでの料金は、DVDレンタルとストリーミングが一緒になり月額\$9.99であった。新しい料金体系では、DVDレンタルとストリーミングのそれぞれが月\$7.99の独立したサービスとなり、これまでと同様にDVDレンタルとストリーミングを使う場合の料金は\$15.98になる。Netflixをキャンセルする人も増えており、同社は第3四半期に250万人がキャンセルすることを予測している。

なぜ、これだけのキャンセルが出ることを予期しながら値上げをする必要があったのか。Netflixはストリーミングサービスを加えた時点で2つの誤算をした。1つは、視聴方法がDVDレンタルからストリーミングへと徐々に移行していき、視聴されるビデオ総数は増えないとの考え。もう1つは、ビデオ本数が若干増えたとしても、ストリーミングのコストはDVDのレンタルより低く、コストは増加しないとの計算である。

しかし、両方とも見込み違いであった。人々は以前と同じようにDVDを借りる上に、ストリーミングでもビデオを見ることで、加入者当たりのビデオ視聴本数は大きく増え、コストを増やしている。また、ストリーミングは郵送コストがないため配信のコストは安い、コンテンツ事業者はストリーミ

ングの料金をDVDより高価に設定しており、ストリーミング全体のコストは安くなっていない。ストリーミングのコストを押さえるために、Netflixはストリーミングで新しい映画を提供しないで、古い映画やTV番組を主体にした。この結果、人々はストリーミングも使うが、新しい映画は必然的にDVDレンタルに頼る必要があり、どちらも利用する傾向をさらに強める結果となってしまった。

Netflixの主体はストリーミングに

Netflixはこの値上げで、強制的にDVDレンタルからストリーミングへの移行を進めようとしている。既存の加入者に対しての新料金は9月から始まるが、新規加入者に対しては、すでに新しい料金体系になっている。Netflixの新規加入者向けのWebサイトは、ストリーミングサービスを主体に売り込みをしている。DVDのレンタルに関しては、オプションで追加ができると小さく書かれているだけである。Netflix

は組織的にもDVDレンタルを切り離しており、DVDレンタルは別部門となり、別の建物に移っている。

Netflixは、第3四半期には、1,000万人がストリーミングだけの利用者となり、両方の利用は1,200万人、DVDレンタルだけは300万になると予想をしている。新規加入者のほとんどはストリーミングとなり、DVDレンタルをなくしていく考えである。

しかし、Netflixがストリーミング主体の会社に変身をして、DVDのレンタルはすぐにはなくならないであろう。自動キオスクでDVDのレンタルをしているRedboxの第2四半期の売り上げは3.64億ドルで、前年同期から33.8%増えている。同社のキオスクごとの貸し出し枚数は前年同期から25.1%増えている。Netflixの新しい料金体系により、Redbox、その他のDVDレンタル事業者の売り上げが増えることが予想される。破綻したBlockbusterを買い取ったDish Networkは、残っているBlockbusterの1,700の店舗を600以下に減らすと発表したが、計画を改め、1,500の店舗を引き続き運営していく予定である。

The Compassニュース

NSIリサーチは、アメリカのデジタル放送とインターネットTVの動向を伝えるマンスリーレポートのThe Compassを出版しています。The Compassのサンプル購読がご希望であれば、compass@nsirinc.comに会社名、氏名を含めたEメールをお送り下さい。

